

消防費は、高規格救急自動車購入費などを計上し、対前年度比23・0%増の1億1千31万円となりました。

市債の償還金にあたる公債費は、葬斎場や市民プールを建設した際の市債の元金償還が始まることなどから、対前年度比8・9%増の34億2千654万円を計上しました。

給与費は、給与制度の見直しや独自削減、人員減に取り組みましたが、団塊の世代の定年退職が始まることから退職手当が増加し、対前年度比3・1%増の44億2千686万円となりました。

『三位一体改革』と定率減税廃止の影響

税収増の一方、補助負担金や地方特例交付金の削減などにより、実質的な収入増にはつながらず

『三位一体改革』による国から地方への税源移譲により、個人市民税が約4億6千万円増収の見込みですが、平成18年度までに交付されていた国や道からの補助負担金が約5億3千万円削減されているため、差し引き約7千万円の減収になっています。

また、定率減税が廃止されることにより、個人市民税が約8千900万円増収の見込みですが、これまで減税分を補っていた減税補てん債が廃止になり、地方特例交付金も大幅に削減されることなどから、市の実質的な収入増にはつながっていません。

※各事業費は、万円単位に切り上げています。

## 平成19年度主な事業の予算額

### 総務費

市バス運行業務委託料	731万円
旅券事務費	25万円
国際交流経費	588万円
移住促進経費	10万円
行政情報化経費	3,129万円
地域イントラネット維持管理経費	3,025万円
西いぶり広域連合共同電算事業負担金	8,138万円
西いぶり広域連合共同電算基盤整備事業費	2,054万円
総合防災訓練経費	136万円

### 民生費

町内会運営助成金	2,680万円
地域福祉活動促進事業補助金	1,459万円
精神障害者社会参加支援等対策経費	149万円
医療費助成経費（乳幼児、重度心身障害者、ひとり親家庭等、老人（道老））	3億4,160万円
在宅高齢者保健福祉推進支援経費	1,175万円
仕事と家庭両立支援事業費	698万円
母子家庭等自立支援給付事業費	90万円
登別保育所運営業務委託経費	6,929万円
幌別東保育所整備事業費	1,000万円
放課後児童クラブ運営経費	329万円
交通安全施設整備事業費	2,680万円

### 衛生費

母と子の健康づくり事業費	819万円
老人保健事業費	5,422万円
墓地施設整備事業費	700万円
塵芥収集運搬業務委託料	1億1,718万円
クリニックセンター運営管理経費	6億314万円
最終処分場運営管理経費	4,910万円

### 労働費

雇用対策救援事業費	2,555万円
勤労者特別融資積立金	4,100万円
高校生のための企業見学会経費	20万円

### 農林水産業費

畜産環境施設等整備事業費	779万円
特定農山村地域活動支援事業費	245万円
漁業専門員設置補助金	120万円

### 商工費

中小企業特別融資積立金	8,900万円
住宅改良促進特別融資積立金	3,700万円
起業化支援事業費	608万円
新産業創造活動事業補助金	90万円
ものづくり創出支援事業負担金	260万円
産業クラスター形成計画推進経費	228万円
登別観光協会助成金	1,060万円
観光振興特別対策事業補助金	4,190万円

### 土木費

のぼりべつ・クリーン&フレッシュ事業費	37万円
市道改良・舗装事業費	2億5,190万円
市道舗装排水整備事業費	4,600万円
亀田記念公園整備事業費	1,500万円
キウシト湿原緑地保全事業費	4,850万円
市営住宅（幌別東団地）建替事業費	3億3,137万円

### 消防費

自動体外式除細動器等購入費	57万円
高規格救急自動車購入費	2,900万円
消火栓整備事業費	570万円

### 教育費

スクールカウンセラー活動経費	17万円
心の教室相談員活動経費	150万円
小中学校情報教育推進事業費	5,873万円
特色ある学校づくり推進経費	542万円
教育施設水洗化事業費	2,200万円
登別中学校暖房設備整備事業費	1,350万円
のぼりべつ文化交流館開設経費	400万円
のぼりべつ文化交流館運営管理経費	584万円

### 水道事業会計

中区配水池流量計及び配水制御弁設置工事ほか	9,227万円
配水管改良・移設・布設事業費	1億7,680万円

### 公共下水道事業特別会計

下水道管渠整備事業費	9億9,233万円
終末処理場整備費	8,610万円